

すぐに活用できる、『身近な』DX 運用事例セミナー

「DX(デジタルトランスフォーメーション)」という言葉聞いたことがあっても、「実際の業務運営の中において、どのように使われているのか分からない」そんな声も聞こえてきます。

そこでこのたび、既に業務運営の中で使われている「DX」事例について、「デジタルトランスフォーメーション」がどのように運用されており、またどの程度の生産性向上に寄与されているのか、を中心にご紹介させていただきます。

貴社でのデジタル化推進の参加のため、ぜひご視聴頂ければ幸いです。

2022 年 12 月 13 日(火) 13:30～配信開始(約1時間のコンテンツです)

(12 月 30 日まで視聴可能)・聴講無料

発表 デジタルサーブ株式会社 営業部部長 延島友之氏

デジタルサーブ株式会社：1993 年 10 月設立、本社は水戸市。民間企業や地方自治体のソフトウェア開発、基幹システムの構築を手掛けるほか、自社製品としてクラウド型の販売管理システムなどを提供している。2021 年 4 月には常陽銀行と業務提携し、同行の取引先企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進の支援を始める。2020 年 10 月、経済産業省から「地域未来けん引企業」に選出される。

セミナー内容：

【1】DX(デジタルトランスフォーメーション)の企業での導入・運用の状況

【2】プロジェクト担当者の役割と知っておきたい DX 導入に関する知識

【3】DX 事例紹介

① 販売・営業社員向けアプリ

常陽銀行様で実績のある「訪問管理アプリ」を民間企業向けに展開した事例紹介。

外回りの営業担当の訪問先や滞在時間をスマホの衛星利用測位システム(GPS)機能で記録し日報業務に結び付けたシステムをご紹介します。

② 基幹システムの活用

現状の基幹システムを出先から活用するプラスαの仕組み作りの事例紹介。

③ サービスマン保守点検管理システム

リモートワークの導入で分断されがちな現場と本社をつなぐ情報管理システムの事例紹介。日報や報告書、故障履歴の検索など、社内の非効率な運用・業務の改革事例をご紹介します。

【4】導入・運用までの期間とコストの事例

オンラインセミナーの受講方法：

【メール(gotou@okk.or.jp)にてお申し込みをお願い致します。】

①会社名、②役職名 ③ご氏名 ④E-mail アドレス(ご視聴用の URL をお送りさせていただきます)をメールにてお送り願います。ご指定頂きましたメールアドレスに視聴用の URL をお送りさせていただきます。セミナー動画は 12 月 13 日(火)13:30 から 12 月 30 日までご視聴可能です。

会社名			
お役職名		ご氏名	
E-mail ※必須			

本件担当

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)

TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 E-mail gotou@ikk.or.jp 水戸市桜川 2-2-35 11 階